

事項	サイレージ用トウモロコシの奨励品種「パイオニア118日（系統名P2088）」の特性		
ねらい	本県に適するサイレージ用トウモロコシの品種を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「パイオニア118日（系統名P2088）」が既存の奨励品種と比較して耐倒伏性及び収量性に優れることが明らかとなったので奨励品種として普及に移す。		
普及する内容	<p>1 来歴 アメリカで育成されたデント種×デント種の単交雑一代雑種であり、平成26年からパイオニアエコサイエンス(株)が販売している。</p> <p>2 主な特性（標準品種「パイオニア115日（系統名34B39）」との対比）</p> <p>(1) 初期生育は同程度で良好である。 (2) 生育日数は同日程度の中生品種である。 (3) 倒伏の発生は少なく、耐倒伏性は優れる。 (4) 病害の発生は、すす紋病は同程度で少ないが、紋枯病が多い。 (5) 乾物収量は3か年平均で113%の多収を示す。</p>		
期待される効果	サイレージ用トウモロコシの安定生産に資する。		
普及上の注意事項			
問い合わせ先（電話番号）	畜産研究所 酪農飼料環境部（0175-64-2791）	対象地域	県下全域
発表文献等	平成27年度 東北農業試験成績・計画概要集 畜産研究所研究報告（予定）		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「パイオニア118日 (P2088)」の生育特性及び収量

(平成25～27年 青森畜産研)

系統名	年次	初期生育	絹糸抽出期 (月/日)	刈取日 (黄熟期) (月/日)	生育日数 (日)	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)	倒伏 (%)	折損 (%)	病害 (%)		乾物収量		雌穂割合 (%)	TDN含有率 (%)
										すす紋病	紋枯病	総重 (kg/10a)	標準比		
P2088	平25	7.7	8/3	9/20	134	300	125	44.9	0.0	1.0	28.2	2,061	125	57.8	71.0
	平26	7.7	8/2	9/24	139	291	139	15.4	1.3	1.7	14.1	2,179	115	46.9	68.2
	平27	7.0	8/1	9/28	140	288	117	0.0	0.0	2.3	25.6	1,896	101	57.3	70.9
	平均	7.5	8/2	9/24	137	293	127	20.1	0.4	1.7	22.6	2,046	113	53.8	70.0
34B39 (標準品種)	平25	7.7	8/3	9/24	137	270	128	85.3	1.3	1.0	18.3	1,654	100	60.2	71.7
	平26	6.3	8/1	9/22	136	273	126	32.1	0.0	2.0	11.5	1,898	100	50.1	69.0
	平27	7.0	8/2	9/24	136	291	122	23.1	0.0	2.7	7.7	1,874	100	55.5	70.4
	平均	7.0	8/2	9/24	137	278	125	46.8	0.4	1.9	12.5	1,809	100	55.1	70.3

- (注) 1 初期生育は9 (極良) ~ 1 (極不良) とする評点法による。
 2 すす紋病は被害程度と被害面積に応じて1 (無) ~ 9 (甚) とする評点法による。
 3 紋枯病は罹病個体の全個体に対する割合。
 4 TDN推定式: $56.0 + 0.26 \times \text{雌穂割合}$ 。
 5 平成25年: 9/16の台風による多量の降雨及び強風の影響で倒伏。
 6 平成26年: 7/27の強風による影響で倒伏。倒伏による受精障害により雌穂乾物収量低め。

耕種概要

項目	内容
試験圃場	畜産研究所内圃場 (平成27年で連作8年目の圃場)
播種期	平成25年5月9日、5月10日 (標準品種)、平成26年5月8日、5月9日 (標準品種)、平成27年5月11日
栽植密度	7,017本/10a (畝間75cm、株間19cm)
施肥量	N-P ₂ O ₅ =10-10kg/10a、牛糞堆肥4,000kg/10a
除草法	播種後に土壌処理剤、トウモロコシの2~4葉期に茎葉処理剤を散布